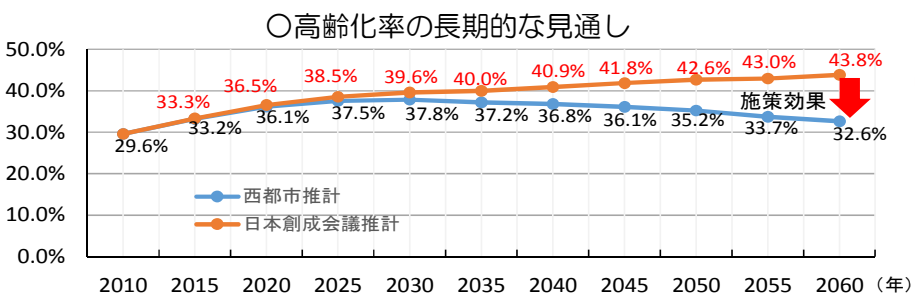
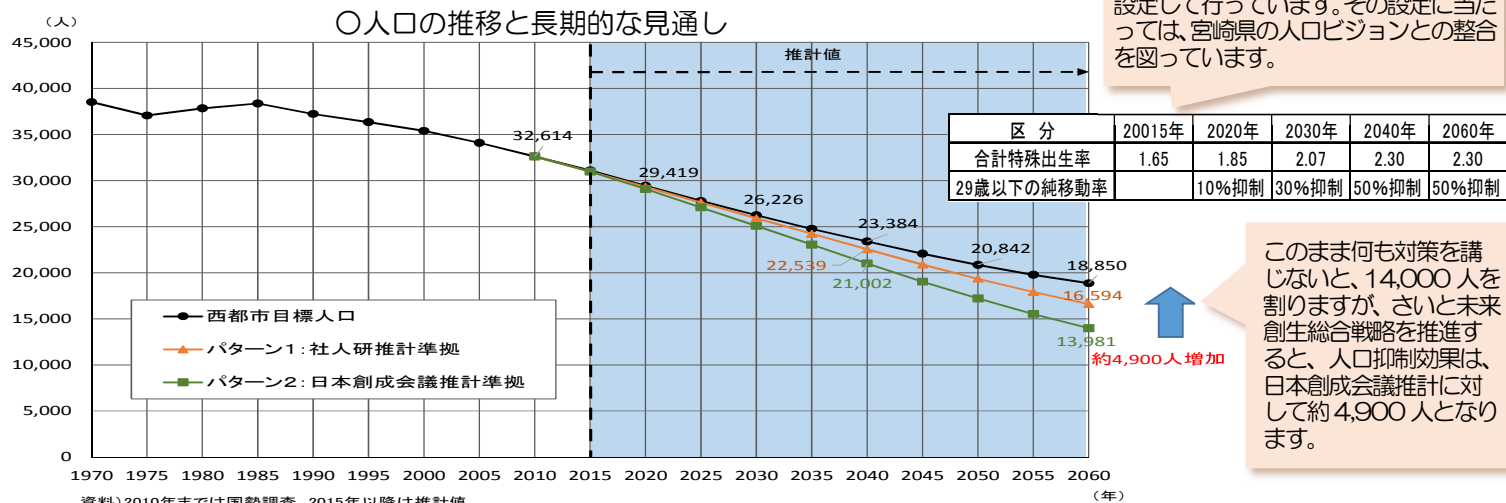


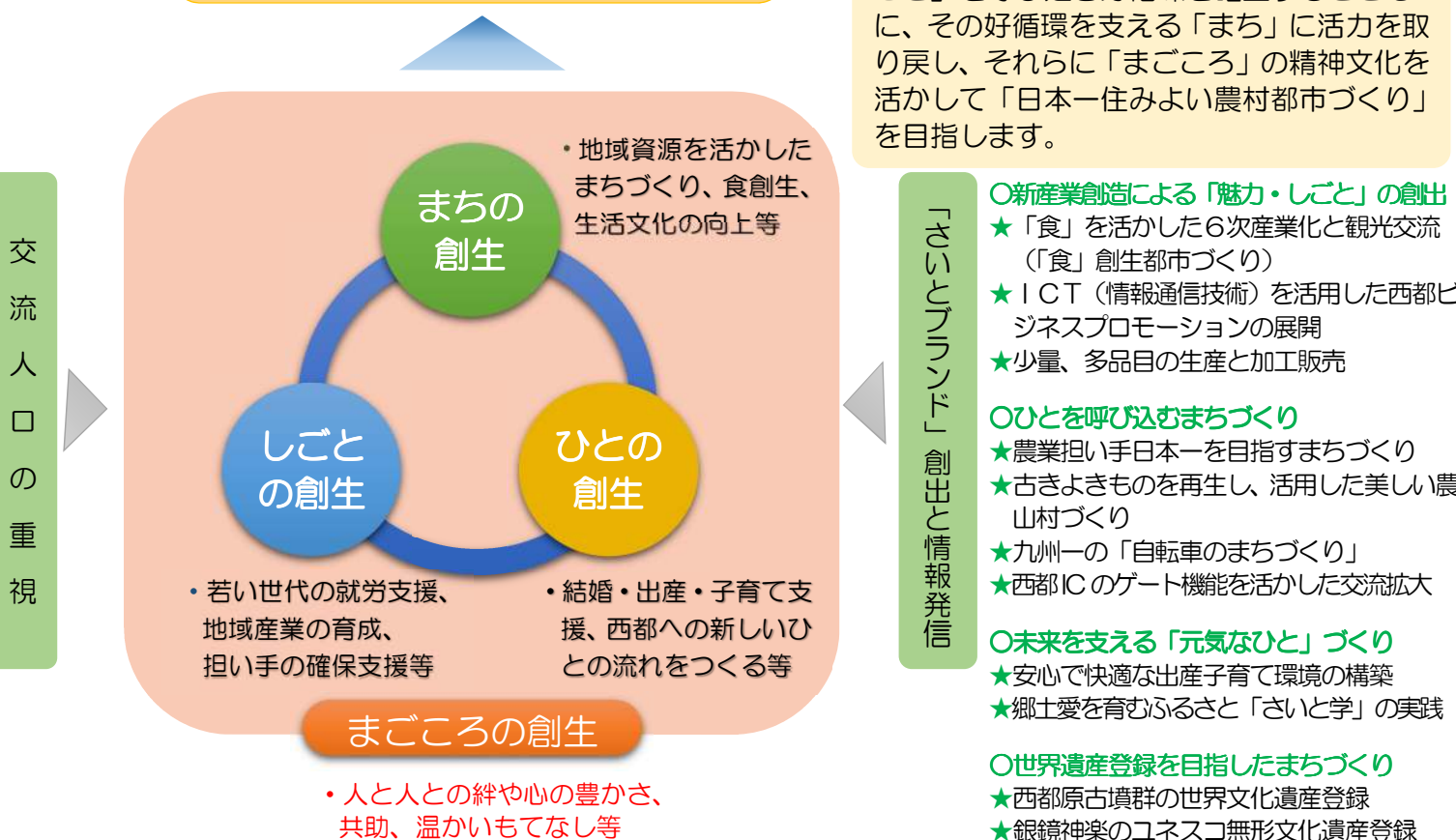
■人口の将来展望

合計特殊出生率を上昇させ、29歳以下の人口の流出抑制と転入促進を図ることで、平成72(2060)年の総人口は約18,900人が見込まれます。



■さいと未来創生総合戦略の構図

日本一住みよい農村都市づくり



◆編集・発行：宮崎県西都市

＜お問い合わせ＞西都市総合政策課 企画政策係
電話 0983 (32) 1011 FAX0983 (43) 3654

さいと未来創生総合戦略 ～概要版～

【人口ビジョン・総合戦略】

平成27年12月

人口ビジョン：西都市の人口の現状を分析し、人口に関する市民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

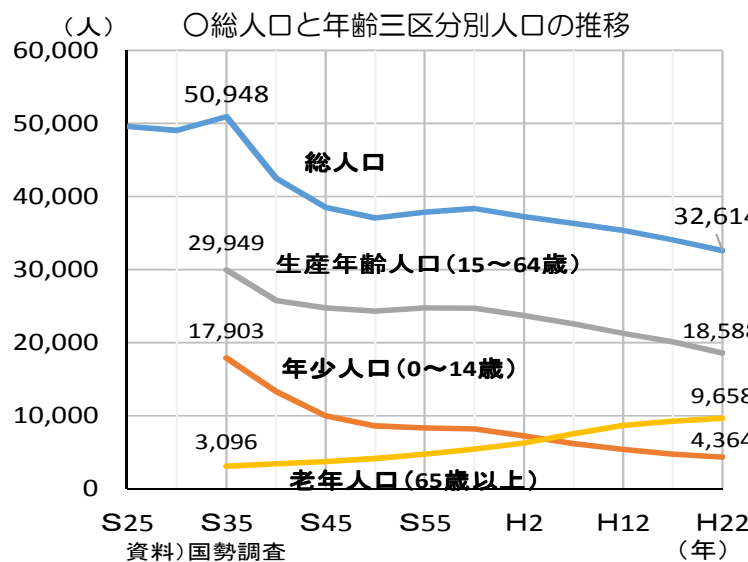
総合戦略：「人口ビジョン」を踏まえ、西都市が抱える課題を解決し、人口減少克服と地方創生に向けた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものです。

※詳細な内容（報告書）は西都市のホームページに掲載しています。アドレス：<http://www.city.saito.miyazaki.jp/>

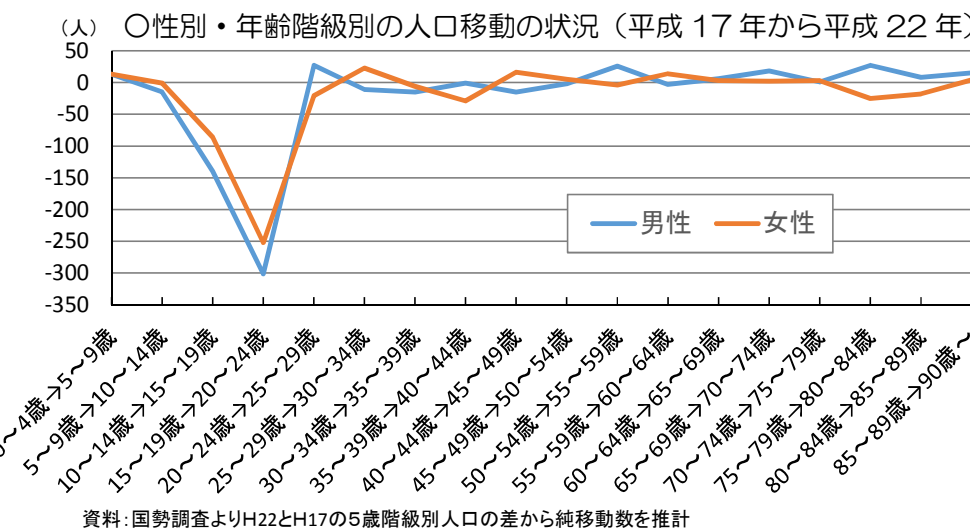
■国の動向と地方創生の流れ

- ❖ 日本の人口減少は加速的に進み、このままでは、現在の1億2,700万人（平成26年9月）から、50年後には約8,600万人、100年後には5,000万人を切ると推計されています。
- ❖ 東京一極集中が人口減少を進行させています。若い世代を中心に、地方から東京圏への人口流出が進み、地方が衰退。さらに、東京圏では厳しい住宅事情や子育て環境等から出生率が極めて低く、それが日本全体の人口減少につながっています。
- ❖ 国は、こうした人口動向等を踏まえ、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、「地方創生」の実現を目的とした「まち・ひと・しごと創生法」を平成26年11月に制定しました。
- ❖ それを受け、同年12月には取組指針となる「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定め、「人口減少と地域経済縮小の克服」「地方と東京圏がそれぞれの強みを活かし日本全体を引っ張っていく」という好循環を確立することを目指しています。

■西都市の人口動向



- ❖ 西都市の人口は昭和35年をピークに人口は減少に転じ、そのまま減少を続けています。
- ❖ 死亡数が出生数を上回る「自然減」と転出者が転入者を上回る「社会減(転出超過)」が続いています。
- ❖ 子どもの数が減少し、高齢者の数が増加する少子高齢化が進行しています。
- ❖ 10代の人口が男女ともに、大きな転出超過を示しています。
- ❖ 転出者の約4割が宮崎市、約3割が県外に転出しています。



- ❖ 人口減少は、労働力人口減少、消費市場や経済規模の縮小、生活・医療・福祉等のサービス低下、商店街等衰退による買い物困難など様々な影響を及ぼしています。
- ❖ このような状況をしっかりと見据え、市民、関係団体等の皆さまと危機感を共有し、人口減少社会の克服等に向けたさらなる取組みを進めていく必要があります。

さいと未来創生総合戦略の全体像

人口ビジョンの目指すべき姿と数値目標

【目指すべき姿】 将来にわたって「元気な日本のふるさと 西都」が持続する社会づくり

○若年層の人口流出の抑制・歯止め ○若い世代を中心とした人口流入の促進 ○若い世代の就労・結婚・子育てなどを支援する環境整備
○高齢者が安心して生活でき、活躍できる社会づくり ○魅力ある価値の創出による定住・交流人口の拡大

【数値目標】 平成 72 年（2060 年） ★総人口 18,900 人超 ★合計特殊出生率 2.3 以上 ★高齢化率 33%以下

出生率を高めて出生者数を増やし、若者の社会流出を抑制することで、バランスのとれた年齢別人口構成の形成を図ります。

※合計特殊出生率：一人の女性が一生に産む子供の平均数のことです。
注）人口の将来展望を示すグラフは裏面に示しています。

総合戦略の基本方針

（計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度）

～ 日本一住みよい農村都市づくりを目指して ～

注）さいと未来創生総合戦略の構図は裏面に示しています。

★西都市の地方創生「まち・ひと・しごと・まごころの創生」

国が示す「まちの創生」、「ひとの創生」、「しごとの創生」だけでなく、「ひと」の心の豊かな生き方や暮らし方を重視する地方創生を目指す必要があるため、人と人との絆や共助を大事にし、人を温かく迎えるおもてなしなどの精神文化を育む「まごころの創生」を基盤に、西都の総力をあげて取り組みます。

★交流人口を重視した地方創生

国内外から訪れ、集い、学び、交流する人々を重視することにより、新しいひとの流れをつくって地方創生を図っていきます。

★「さいとブランド」創出と情報発信による地方創生

地域発商品・サービスのブランド化や地域ブランド化に取り組むことにより、市内外の「さいと」ファンの拡大を図り、「住みたい」「訪れたい」「しごとをしたい、活動したい」という具体的行動を起こす気持ちを誘引して、西都市を元気にしていきます。

基本目標

基本目標 1：西都市における安定した雇用を創出する

食や農、歴史・文化などの西都の強みを活かした地域産業を育成し、経済を活性化し、安定した雇用を創出します。

基本目標 2：西都市への新しいひとの流れをつくる

国内外から訪れ、学び、居住し、交流する新しいひとの流れをつくります。

基本目標 3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、人や地域のやさしさで子育てを支える環境をつくるとともに、西都の未来や産業経済を担うひとづくりを行います。

基本目標 4：時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

「日本のふるさと」資源に磨きをかけ、心豊かな生き方、暮らし方を大切にした地域づくりとともに、豊かな地域コミュニティが息づくまちづくりを進めます。

数値目標

市内事業所従業者数：10,302 人⇒10,800 人
29 歳以下の若者人口割合：24.7% ⇒ 25.0%

転出超過数：248 人 ⇒ 100 人
（転出者数－転入者数）

合計特殊出生率：1.65 ⇒ 1.75
年間婚姻数：117 組 ⇒ 120 組以上

「住みやすい」と実感している人の割合
78% ⇒ 90%以上

基本施策（5 年計画）

①足腰の強い農業の再生

- ・農業経営の高度化
- ・多様な担い手による元気な地域農業の展開
- ・農業生産基盤の強化

②西都の力（ひと、もの、産業など）を活かした新産業創造の取り組み

- ・地域資源の発掘・研鑽
- ・食創生事業の推進
- ・有害鳥獣の処理に対する支援

③地域産業の育成支援

- ・地場企業の育成と起業支援体制の整備
- ・医療サービス業の育成

④企業と就職希望者のマッチング推進

- ・マッチング企業誘致の推進
- ・雇用支援と情報発信

①移住・定住と U・I・J ターンの促進

- ・移住・定住と U・I・J ターン支援体制の整備
- ・多様な世代の居住ニーズに対応した住環境の整備

②観光交流の推進

- ・周遊型・滞在型観光に対応した観光資源・施設の整備
- ・スポーツランドの推進
- ・グリーンツーリズムの推進
- ・観光客の受入環境の整備とおもてなしの醸成

③県内大学等と連携した若者地元定着対策の推進

- ・専門学校、大学等との連携による人材育成

①結婚・出産・子育てまでの一貫した支援

- ・出会いから結婚までのサポート
- ・出産や子育てしやすい環境づくり

②女性が活躍できる社会づくり

- ・男女共同参画社会づくりの推進
- ・女性雇用の推進
- ・ワーク・ライフ・バランスに配慮した子育て環境の整備

③未来を拓くひとづくり

- ・学校教育と ICT（情報通信技術）を活用した教育環境の充実
- ・郷土愛や思いやりの心を育む教育の推進

※ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和のことです。

①元気な日本のふるさとづくり

- ・未来への継承・活用の取り組みの推進

②安全・安心に暮らせるまちづくり

- ・まちづくり活動への支援
- ・安全・安心に暮らせる体制の整備
- ・生活交通の利便性の向上

③広域連携による地域活性化

- ・宮崎中部圏での連携中枢都市圏の形成
- ・地域連携の推進

※連携中枢都市圏：人口減などの課題を抱える地方の活性化に自治体が広域で連携して取り組む仕組みのことです。